



# 図書だより 10月号

2020年10月発行  
睦合中学校  
学校図書館

”読書の秋”ですね。学校図書館にはたくさん本があります。ぜひ借りてください。なお、学校図書館の利用については、本を借りるための来館のみで、学校図書館の中に長く留まらないようにお願いします。また、入館する際には手洗いまたは消毒液で手の消毒をお願いします。

## <お知らせ>

- ①忙しいときこそ、ブックデリバリー・返却BOXを利用してください。返却BOX・ポストは昇降口前の廊下に置いてあります。
- ②「どこでも図書館」は月曜日の昼休み、学校図書館の前で行っています。
- ③図書委員が書いた「本の紹介POP」を学校図書館前の廊下に展示しました。ぜひ見てください！一緒に展示している本は借りられます。

## 新着図書の紹介

### 「14歳からの読解力教室」

犬塚美輪／笠間書院

「読むのが苦手」  
「読解力が大事って  
言われても…」という  
中学生3人が、  
案内役の犬塚先生と共に、「文字が  
読めれば読めたことになりますか？」  
「マンガは読解力に役立ちますか？」  
といった疑問への答えを、心理学の  
観点から探していく。



### 「名探偵ポアロ

#### オリент急行の殺人」

アガサクリスティー／早川書房

世界一の名探偵ポアロは、  
豪華寝台列車オリент  
急行に乗り込んだ。大雪に  
立往生する列車の中で殺人  
事件が起きた。はたしてポアロの  
推理は？意外な結末に世界が驚いた、  
永遠の名作。小・中学生向けに読み  
やすくしたシリーズの一冊。



### 「常識なのに！

#### 大人も答えられない都道府県のギモン」

東進ハイスクール地理科講師 村瀬哲史  
／宝島社

「地理」は、知らず知らずの  
うちに生活に関わっている。  
学校での勉強とは少し  
違った形で「都道府県」のことを知り、  
読み終わると学校での勉強にも役に  
立つ！東進ハイスクールの人気講師が  
書いた本。



### <9月の貸出の利用状況>

#### 【借りた人数】

1年生	40人	
2年生	32人	
3年生	32人	合計104人

#### 【貸出冊数】

1年生	58冊	
2年生	52冊	
3年生	48冊	合計158冊

新しい生活様式  
に合わせて

## ブックデリバリー ご利用ください！

本をあなたの元に届けます。

※昇降口前に、「返却BOX」と「ブックデリバリー受付BOX」を設置しました。

- ①昇降口前に、「ブックデリバリーおすすめリスト」を掲示します。リストの中から本を選ぶか、リスト以外でも借りたい本を書いてください。（「こんな本ありますか？」「こんな本が読みたい！」というリクエストには、学校司書が本を選びます。）
- ②申込書に「学年・組・名前」「本のタイトル」「記入日」を記入して、「受付BOX」に入れてください。  
※申込書とBOXは昇降口前の廊下にあります。
- ③申込みのあった本は、クラスボックスから本人の元に届きます。
- ④本の返却は、昇降口前の「返却BOX」に入れてください。
- ⑤予約の本もデリバリーできます。

### < 10月のブックデリバリーおすすめリスト >

今月の特集は「秋の夜長におすすめ！あやかし系・ホラー系小説」です。

No.	本のタイトル・作者・出版社	おすすめポイント
1	「陰陽屋へようこそ」 天野頌子／ポプラ文庫ピュアフル	王子稲荷のふもとの商店街に開店した古い店「陰陽屋」。ホストあがりのイケメンにせ陰陽師と、キツネ耳としっぽを持つ中学生・瞬太が、お客様の悩み解決に東奔西走する、ほのぼののミステリー。
2	「座敷童子の代理人 1」 仁科裕貴／メディアワークス文庫	売れない妖怪小説家・緒方は、起死回生の小説を書くため、「座敷童子が出る」という迷家荘にやってきた。遠野物語に出てくる河童や妖怪が活躍するほっこり妖怪ファンタジー。
3	「神様の御用人 1」 浅葉なつ／メディアワークス文庫	神様たちの御用を聞いて回る人間“御用人”。ある日突然、狐神からその役目を命じられたフリーターの良彦は、古事記や民話に登場する神々に振り回されることに。良彦の神様クエストが幕を開ける！
4	「京洛の森のアリス 1」 望月麻衣／文春文庫	幼いころに両親を亡くし、引き取られた叔母の家でも身の置きどころのない少女・ありすは、京都での舞妓修業を決意。謎の老紳士に連れられて訪れた京都は、ちょっと不思議な世界“京洛の森”だった。
5	「鹿男あをによし」 万城目学／幻冬舎文庫	奈良の女子高校に臨時講師として赴任した「おれ」は、しゃべる鹿に命を受け、その使いに失敗して「鹿男」にされてしまう。日本の滅亡を防ぐため、古都・奈良を舞台に展開する奇想天外な神話ファンタジー。
6	「5分ごとにひらく恐怖のとびら 百物語 ①絶叫のとびら」 日本児童文学者協会・編／文溪堂	灯された百本のろうそくは、一話語られるごとに消されていく。選りすぐりの二十話を収めたホラー短編&ショートショート集。二十話ごとに扉をあけて、さらに近づく恐怖の影。百話目に何が起こる？現代の百物語。
7	「グースバンプス ①恐怖の館へようこそ」 R・L・スタイン／岩崎書店	引っ越してきた古くて大きなこの家は、なにかがおかしい。そして、この町も…。第一巻は不気味さが刻々とせまってくるハウス・ホラー。“Goosebumps”とは「鳥はだ」の意味。全身に鳥肌がたつような、恐ろしい物語を味わってみて！
8	「モンタギューおじさんの怖い話」 クリス・プリーストリー／理論社	森のはずれにぼつんと建つ屋敷、姿の見えない召使い、暗い庭を横ぎる影、だれもいないはずの二階から聞こえてくる足音、そして書齋を埋めつくす、いわくつきの小物たち。エドガー少年は、怖い話を聞きたい一心で、森のはずれのモンタギューおじさんの屋敷に通う。
9	「ダレン・シャン 奇怪なサーカス」 ダレン・シャン／小学館	ダレン・シャンは、奇怪なサーカスのチケットを偶然手に入れた。そのサーカスを見に行った夜から、彼は数奇な運命を背負ってしまう。親友の命を救うために、彼が正体不明のバンパイアと取引した事とは…。
10	「13ヵ月と13週と13日と満月の夜」 アレックス・シアラー／求龍堂	カーリーは魔女に体に乗っ取られて、年老いたおばあちゃんになってしまった！カーリーは12歳の体を取り戻すことができるのか？ハラハラドキドキのファンタジー小説。